

『広八日記』と日本暦・西暦月日対照表

鈴木修一

この「『広八日記』と日本暦・西暦月日対照表」は、拙稿「『広八日記』のなかの広八像」（『表象としての日本』、神奈川大学人文研究所編、2009年3月刊）を執筆する際に作成したものである。

拙稿において（また本表においてもその一部を）、「二『広八日記』の問題点」で検討したように、日記の、日記記載そのもの、および諸論者の、日付同定において少なからず混乱が見られるように思えたので、それを整理できたらと思っている。

『広八日記』の日付記載を便宜上「広八暦」とし、「広八」は本来「廣八」であるようだが、「広八」と簡略表記した。彼は、出国に当り、日本暦を持参しなかったの、日記記載に当り、便宜的に一月を三十日として記載している。（帰国後の清書に際して訂正することができたはずだが、それをしていない）。

そして、簡単な、あらずもがなの脚注（*）を

付し、拙稿に関わる事柄を、『広八日記』のなかから、月日対照の後の余白部分をうめるため、抜粋して（はなはだ筆者の主観的な選択になるが）彼および彼の一座の動向が最少限わかる程度に記載した。なお、括弧の中、および、ルビは筆者。

本表を作成するに当り、主に以下の諸著作を参考にした。

テキスト：『高野廣八日記』（『飯野町史、第三巻各論編』、飯野町、2005年3月）

宮永孝『海を渡った幕末の曲芸団（中公新書1463、1975年10月）

野島寿三郎編『日本暦西暦月日対照表』（日外アソシエーツ、1987年11月）

なお、脚注においては、西暦と区別するために、「広八暦」の表記を和数字で表記した。

広八暦	日本暦	西暦	
(慶応2) 10-26	慶応2 10-26	1866 12-2(日)	横浜入船（乗船）致し候
27	27	3(月)	横浜をきにて泊り
28	28	4(火)	同
29	29	5(水)	此日仲（沖）よりひる九ツ時出船致し（船アーチバルト号）
30	30	6(木)	…皆々しよくもつはきいたし、なんぎ致

広八曆	日本曆	西曆	
(慶応2) 11-1	慶応2 11-1	1866 12-7(金)	なぎ (風) よろしく船はしる
2	2	8(土)	
3	3	9(日)	
4	4	10(月)	風よろしけれハ、座中の物 (者) 共半ぶんおき、飯をたきてたへる也
5	5	11(火)	…此日私もはらくだりてなんぎ致、…
6	6	12(水)	
7	7	13(木)	
8	8	14(金)	此日ハ南風にて大嵐、ようやくちや飯をたき、巻と (一同) たへるなり
9	9	15(土)	
*1 { 10	10	16(日)	風よし、船とふかことし、はしる
11	11	17(月)	此日ハ大嵐にて、…船ハマっさかたち、とほうにくれ候い共…
12	12	18(火)	天気よし、船はしるなり
13	13	19(水)	
14	14	20(木)	
15	15	21(金)	風よし、浪しづかなれば皆々あんばいよく、…日出度ほようを致たのしむ也
16	16	22(土)	此日もなぎの事なれハ、皆々酒さかなにておとり致、よろごぶ
17	17	23(日)	…なぎにて、それぞれニすきなる物をこしらいてたへる、…
18	18	24(月)	浪風わるし、なんき致候
19	19	25(火)	嵐なれハ船大ゆれ、…皆々たへ物はき致、…
20	20	26(水)	
21	21	27(木)	…あめ風ニ而大嵐となり、…異国船ハながなが ^{もつ} 物て、なん船のよふなる事ハなきよふに思ひ、…異人せんとうハ事ともせず、神様なき国なれハ、…
22	22	28(金)	…猶又あめりかの国 <u>三ふらんせし</u> こと申みなといまちかく相成…
23	23	29(土)	
24	24	30(日)	……猶又あめりかの此日ハ正月ニ而、異人より酒さかなのであてにて、大ゆハいを致候なり、* 2
25	25	31(月)	
26	25	31(月)	晴天にてみなと付、皆々大きによるこび、…此夜ハ船にて泊り、…
27	26	1867 1-1(火)	八時半時ニ <u>三ふらんせし</u> こにあがり候
28	27	2(水)	…其夜異国のしばい見物にまいり候なり * 3
29	28	3(木)	<u>三ふらんせし</u> こ見物に出候処、きれいなる事、はなし糸にもかきがたし、…
30	29	4(金)	

* 1. このあたりで、日付変更線を通過したと思われるが、記述にないので、広八曆26日で、一日調整。

* 2. この日は西曆で、* 1に記したように、日付変更線通過後で、一日調整すれば、12月29日。広八の記述は、清書の段階で誤ったか？

* 3. 「しばい」と言っても、恐らく、演劇のようなものではなく、サーカスあるいは、軽業の類のものであろう。

広八曆	日本曆	西曆	
(慶応2) 12-1	慶応2 11-30	1867 1-5(土)	
•2	12-1	6(日)	此日夜とほすあかりの事ニ付、異人よりかたく申わたされ候なり、 … * 1
3	2	7(月)	此日役人始て手見致、 * 2
4	3	8(火)	三ふらんせしこにてしはい初り (アカデミー・オブ・ミュージック)、大入、若太夫傳吉大傷
5	4	9(水)	大入
6	5	10(木)	大入、鉄わり福松座中引つれ見物ニきたり候なり、…
7	6	11(金)	大入
8	7	12(土)	大入ニ而異人よりてあで (手当) 有
•9	8	13(日)	中夜相勤申候、同大入 * 3
10	9	14(月)	今日ハ異人のかるハざを見物に参り、おとろき入候也
11	10	15(火)	今日皆々銀ざ見物ニまいり候処、…
12	11	16(水)	此日皆々馬車ニ而はうく (park, クリフ・ハウス) と申見物ニまいり、…
13	12	17(木)	
14	13	18(金)	
15	14	19(土)	
16	15	20(日)	
17	16	21(月)	大雨ニ而、休候 * 4
18	17	22(火)	異人よりかね請取、大入
19	18	23(水)	
20	19	24(木)	傳吉くわい (快癒) 致て、…
21	20	25(金)	
22	21	26(土)	
23	22	27(日)	
•24	23	28(月)	* 5
25	24	29(火)	大入ニ而今日せんしうらく (千秋楽) 目出度仕候なり
26	25	30(水)	
27	26	31(木)	今日三ふらんせしこ出船致、是れより同国 ^(ニューヨーク) 人 要達と申処いまいる、…猶又日本けい人鉄わり福松と申座中十三人のりあいにてまいる也、…
28	27	2-1(金)	
29	28	2(土)	…今日鉄わりとちか付に相成
30	29	3(日)	

- * 1. ガスランプ、水道などの要領のよい記述あり。この日より、日曜日の印付始まる。
- * 2. いわゆるプレヴューか。
- * 3. テキストに(二日と九日の・印は間違いで実際には土曜日)とあるが、この指摘は間違いで、実際は正しい。日曜日に興行がなしとするなら、広八の記述が、日付とずれているということだろう。
- * 4. 前日16日に・印なく、この日「大雨ニ而」「休候」でなく、次の・印が24日に付されていることから、日曜日で興行がなかったのだと思われる。と言っても、記述はここから一日ずれて(24日以降、実際は月曜日)、この記述はむしろ、十六日(広八曆)のものではないか。
- * 5. これ以降、広八曆の明治元年十一月十三日まで、月曜日のところに・印が付され、日曜日とされている。したがって、・印、および、その前後の記述は日付と一日ずれている可能性が高い。

広八曆	日本曆	西曆	
卯 正月 -•1	12-30	1867 2-4(月)	朝日出る処おかみ、ゆはいお致、目出度相すみ候 * 1
2	慶応3 1-1	5(火)	四月ころのよふきなり
3	2	6(水)	たへる物ハ皆日本とおなちなれ共、こしらいべつなれハ未事ニ物てこまり入り、…
4	3	7(木)	此夜九つ時せきたん山のふもといまいり (アカブルコ)、…人のいろくろし、皆くろんほう也
5	4	8(金)	今日四つ時出船致候なり
6	5	9(土)	
7	6	10(日)	
•8	7	11(月)	
9	8	12(火)	
10	9	13(水)	…此日四つ時、 ^(パナマ) はんのまと申てくろんほうのすむ処いま入候
11	10	14(木)	今日は八船のりかいは所(場所)なり、…道のり六十里ほどの処を上き車と申くるまニのり、三時ニ而まいる、…
12	11	15(金)	又、上き船にのりかいは五つ時出船、風わるく皆々たべ物はきいたし、…
13	12	16(土)	海わるし、…皆々大きによはり(弱り)なんき致なり
14	13	17(日)	
•15	14	18(月)	
16	15	19(火)	
17	16	20(水)	
18	17	21(木)	海わるし、皆々たべ物はき出し、あたまあがらず、…
19	18	22(金)	
20	19	23(土)	此朝六時ニ、 ^(ニューヨーク) 入要達と申て、あめりか壱のよき処い付候、…
21	20	24(日)	猶又鉄わりとおなちやど也、…
•22	21	25(月)	…とふと申女あり、此女鉄わりわか太夫とふぎ致、…
23	22	26(火)	
24	23	27(水)	
25	24	28(木)	町見物致
26	25	3-1(金)	
27	26	2(土)	…ぶたいあきなし、よりところなく、 ^(フィラデルフィア) ふるでらふやと申処い、上き車にて、…朝四つ時立て、其夜ふるでらふやい付候なり
28	27	3(日)	…役人付そい町見物致候なり
•29	28	4(月)	処々あすひに出候処、始てあめりか国のくわぢ(火事)火けしの出たち、…
30	29	5(火)	今日道工こしらいふたいをかざり付を致、…

* 1. 日本では一日早い正月一日で、正月は合致している。

広八曆	日本曆	西曆	
卯 2-1	慶応3 2-1	1867 3-6(水)	大ゆきなれ共此夜より初日致 (アカデミー・オブ・ミュージック), 大入…
2	2	7(木)	大入
3	3	8(金)	…役人付そい町見物に出候, 猶又めつらしきやとやの家作, … * 1
4	4	9(土)	町見物致候
5	5	10(日)	
•6	6	11(月)	
7	7	12(火)	今日所々馬車ニ而見物致候, 此夜異人座中のこらす引つれ女郎かいにまいり, 此夜始て異国女とまぢわりを致候なり
8	8	13(水)	今日大かねもちの処いよバレ, …
9	9	14(木)	大入
10	10	15(金)	所々けん物致
11	11	16(土)	
12	12	17(日)	
•13	13	18(月)	此日より松井菊治郎ひょうき (病氣) に相成候, ろうたんと相みい候
14	14	19(火)	
15	15	20(水)	
16	16	21(木)	
17	17	22(金)	
18	18	23(土)	
19	19	24(日)	
•20	20	25(月)	
21	21	26(火)	
22	22	27(水)	
23	23	28(木)	今日もほうほう見物致候なり
24	24	29(金)	
25	25	30(土)	今日銀ぞ見物致 * 2
26	26	31(日)	…大入ニ而今日此処目出度せんしうらく致候也
•27	27	4-1(月)	今日荷作致夜四つ時ニ此処を出立て, ^(ボルチモア) ほうてもうると申処いまいり候, …
28	28	2(火)	
29	29	3(水)	ほうてもうる初日大入 (メリーランド・インスティテュート)
30	30	4(木)	

* 1. ホテルの中のエレベーターについて記述。エレベーターの階数を示す円形の表示板と時計を混同し、昼飯の時間と関係づけての記述あり。

* 2. チェスナット街にある「合衆国造幣局」。なお、広八曆（慶応二年）十二月十一日の「銀ぞ見物」は、このフィラデルフィアの造幣局の支局である。（宮永，P.26）

広八曆	日本曆	西曆	
卯 3-1	慶応3 3-1	1867 4-5(金)	
2	2	6(土)	
3	3	7(日)	今日目出度せんしうらく致
•4	4	8(月)	わしんとんと申て、あめりかニ而国王の御所あり、…此処いあさ五つ時出立て四つ時ニわしんとんい付、馬車ニ而泊屋（ナショナル・ホテル）いまいり、…
5	5	9(火)	今日初日興行大入ニ而…（ウォールズ・オペラ・ハウス）
6	6	10(水)	
7	7	11(木)	
8	8	12(金)	
9	9	13(土)	此日ハあめりか壱の天しどう（天主堂＝国会議事堂）はいげん（拝見）にまいり候処…
10	10	14(日)	
•11	11	15(月)	
12	12	16(火)	此日国王にまねかれ御城内ニまいり、…猶又今日銀ざけんぶつ致候処、…猶又此夜女郎かいを致候なり、… * 1
13	13	17(水)	猶又今よ（夜）も女郎かいニまいり候… * 2
14	14	18(木)	
15	15	19(金)	今日も国（王）ニめとふり致…
16	16	20(土)	ぐんかん役人ちか付致候 * 3
17	17	21(日)	…目出度今日せんしうらく致
•18	18	22(月)	此朝五つ時出立、其日上き車ニ而ぼうるてもうるい付、…
19	19	23(火)	今日初日…
20	20	24(水)	町見物致
21	21	25(木)	
22	22	26(金)	馬車ニ而あすふ（遊ぶ）
23	23	27(土)	
24	24	28(日)	…せんしうらく
•25	25	29(月)	…ざいかた（在方）い馬車ニ而あすびに出候処、…
26	26	30(火)	
27	27	5-1(水)	…異人のきよく馬をみて、…
28	28	2(木)	…朝四つ時よりくれ六つ迄ニ入要違付候なり
29	29	3(金)	今日日本江戸より手紙とどきて、…それよりすぐさまわれわれも手紙だし、…
30	4-1	4(土)	…きよく馬けん物致

- * 1. 三原文の考証によると、この日の記述は「そのほとんどが同日の出来事ではない」とのことで、「日時を異にする四件の出来事が順不同に詰め込まれている」ようである。（テキスト、P.21）
- * 2. この後の記述に、この女郎屋の様子、女郎とのやりとり等が、詳細に語られている。
- * 3. 次頁* 1の小野友五郎使節団のだれかかと思われるが、彼らがワシントンに来たのは、どんなに早くても「三月十九日」以降のことであり、日付が合わない。「三月十二日」の記述が混乱していることを考慮すると、広八の記述がこの前後混乱していることから、この「ぐんかん役人」は日本人の可能性が高いと言えよう。この前後の文脈からアメリカの「ぐんかん役人」と接触する必然性、可能性は無いだろうから。

広八暦	日本暦	西暦	
卯 4-1	慶応3 4-2	1867 5-5(日)	しばいを見るなり
•2	3	6(月)	
3	4	7(火)	今日より入要達初日致候 (アカデミー・オブ・ミュージック)
4	5	8(水)	今日馬車二而町見物致
5	6	9(木)	
6	7	10(金)	今日も町見物致
7	8	11(土)	
8	9	12(日)	
•9	10	13(月)	
10	11	14(火)	此日日本人あすひにまいり候て、… * 1
11	12	15(水)	今日あすひに出、…
12	13	16(木)	
13	14	17(金)	
14	15	18(土)	此日道四りほとへたちて興行にたのまれ、… * 2
15	16	19(日)	
•16	17	20(月)	
17	18	21(火)	
18	19	22(水)	
19	20	23(木)	
20	21	24(金)	
21	22	25(土)	道四りへたち興行にたのまれ、…
22	23	26(日)	
•23	24	27(月)	町見物
24	25	28(火)	
25	26	29(水)	此夜入すこし、… * 3
26	27	30(木)	
27	28	31(金)	
28	29	6-1(土)	<small>(ブルックリン・アカデミー)</small> 此ひる又 <u>あめりしふくれん</u> と申処いまいる、ひる興行致なり、…
29	30	2(日)	
•30	5-1	3(月)	馬車二のり、又船にのり、又かちにてあるき、とんたくゆいに、 <small>(セントラル・パーク)</small> <u>せんた郎はうく</u> と申て、是ハ皆あすひばしょなり、…

- * 1. 小野友五郎使節団が軍艦購入を主な目的とし、1867.4.23 (広八暦三月十九日) から、6.12 (同五月十日) にかけて、ニューヨーク、ワシントン等に滞在しているので、そのなかのどれかが広八たちをたずねたものか。
- * 2. これ以降、ときどき、あるいは場所により頻繁に近隣の町村に頼まれてマチネー (昼興行) を行う。その際の記述で、注目すべきは、べんくつの指示によるものかどうか、かならず「日の丸のはたをたて、いせいよくまいり」ていることである。
- * 3. 「入すこし」はめずらしく、大体「大入」「中入」で、例外は、(慶応四年「九月八日、九日、十一日」の「入なし」) である。また、この記述のあとに、傳吉、菊治郎が女郎かいに行き、金だけとられ、女にふられた事件について記されている。「五月六日」にも、この件についての記述あり。

広八曆	日本曆	西曆	
卯 5-1	慶応3 5-2	1867 6-4(火)	
2	3	5(水)	
3	4	6(木)	此夜日本役人三人まいり、ちかづき致、… * 1
4	5	7(金)	此日又日本役人のうち(メトロポリタン・ホテル)いまいり、… 手紙をたのみ候なり * 2
5	6	8(土)	又 <u>ふくれん</u> いひの丸のはだたて興行にまいり候 (ブルックリン)
6	7	9(日)	
•7	8	10(月)	町見物致
8	9	11(火)	同見物致
9	10	12(水)	
10	11	13(木)	…見物の中い上のり梅吉おち候て大けかを致、…
11	12	14(金)	此日 <u>入王</u> (ニューアーク)と申て、…ひるのうち興行致候なり
12	13	15(土)	同ひる <u>入王</u>
13	14	16(日)	今日目出度 <u>入要達</u> せんしうらく致、…
•14	15	17(月)	そんれい(Sunday)今日此処七ツ時ニ出たち、 <u>ほうすとふ</u> と申処 (ボストン) いまいる、… * 3
15	16	18(火)	今日…初日仕候処…(ボストン劇場)
16	17	19(水)	…興行にまいり候あとにてどろほうかはいり、…
17	18	20(木)	
18	19	21(金)	
19	20	22(土)	
20	21	23(日)	
•21	22	24(月)	
22	23	25(火)	此日わしんとん王様御廻り見ニ而御とふり有、又われわれ共御目 どふり、…
23	24	26(水)	
24	25	27(木)	
25	26	28(金)	
26	27	29(土)	
27	28	30(日)	…目出度せんしうらく
•28	29	7-1(月)	そんれいにて休、…七ツ時ニ出立、朝六ツ時ニ <u>入要達</u> い付候なり
29	6-1	2(火)	上のり梅吉けかせんくわい致、すくさま其夜興行致候…
30	2	3(水)	

- * 1. この三人とは小野使節団の中の、松本(寿左夫)、小笠原(賢蔵)、岩田(平作)の三人らしい(宮永、P.68)
- * 2. * 1の三人と福沢諭吉がメトロポリタン・ホテルに宿泊しており、彼らをたずねたらしい。(宮永、同)宮永、同頁での「福沢の「日記」と広八の日記とでは、一日のずれがある」は正確ではない。福沢の「日記」慶応三年五月五日「日本の芸人来る。手紙も請取」(『福沢諭吉全集 第19巻』P.152)は、広八曆「五月四日」にあたり、一致しているのである。
- * 3. この日の記述に、汽車でトンネル通過のことが記されている。よほど珍しかったのか。これ以降とところどころにトンネル通過の記述が見られる。

広八曆	日本曆	西曆	
卯 6-1	慶応3 6-3	1867 7-4(木)	
2	4	5(金)	
3	5	6(土)	此朝江戸より手紙とどきて皆々よろこびて見る, …* 1
4	6	7(日)	今日目出度此処せんしうらく…
•5	7	8(月)	…入王と申処いまいる事なり
6	8	9(火)	入王興行初日大入… (於ウォーラーズ・オペラハウス)
7	9	10(水)	せんしうらく…是よりふらんすいゆく事と相きハまり候なり
8	10	11(木)	…ふらんす国い上き船にて時九つ二出ばん致, …
9	11	12(金)	
10	12	13(土)	
11	13	14(日)	
•12	14	15(月)	大きにさむさつよし
13	15	16(火)	
14	16	17(水)	
15	17	18(木)	
16	18	19(金)	
17	19	20(土)	
18	20	21(日)	
•19	21	22(月)	
20	22	23(火)	此ひるいきりす国 ^{(ポーツマス)*2} ふうつぼうと申船つきいあかりて, 此夜ハ此処ニ而とまりやすみ候 * 2
21	23	24(水)	朝五ツ時, 又船ニ而, …
22	24	25(木)	
23	25	26(金)	
24	26	27(土)	朝九ツ時ニふらんすの国 ^(ルアーブル) は ^ゞ と申ふなつさにあかり, … * 3
25	27	28(日)	町見物致候, 此時松井源水此処いわれわれ共よりさきまわりを致, …
•26	28	29(月)	同馬車ニ而町見物, …猶又めつらしきハけた物屋敷と申て, …
27	29	30(火)	今日道さかさりて, はりすにて役人申い手見せをする (プレヴェー), … * 4
28	7-1	31(水)	目出度初日仕 (シルク・ナポレオン) …猶又此夜日本殿様清水みんぶ様… * 5
29	2	8-1(木)	
30	3	2(金)	

- * 1. この手紙は「江戸を三月三日の出なり」とあり、彼らの手元に届くまで3ヶ月ほどかかったことがわかる。なお記述は、ミカド一座がニューヨークに到着したことが、これに続く。
- * 2. テキストには、リパブルとあるが、これは宮永の指摘のように、ポーツマス (P81) と思われる。
- * 3. 「はゞ」が、ルアーブルとは考えにくい。地名はルアーブルだとしても、「はゞ」はおそらく、べんくつらから聞いた、harbor (港) を地名と勘違いしたのではないか。この日のうちに「七ツ時ニ国のみやごはりす (パリ) と申処いまいる…」と続く。
- * 4. この記述のあと、「はりしぢう」を、テキストは「パリ市中」とするが、当時、広八に、と言うより、日本人に city, ville としての「市」概念があったとは考えられないので、これは「はりし (パリ) 中」とすべきだろう。
- * 5. この日以降「はりし」として「パリ市」ととれるように記述してあるが「はりし」とすべきであろう。

広八曆	日本曆	西曆	
卯 7-1	慶応3 7-4	1867 8-3(土)	
2	5	4(日)	
•3	6	5(月)	とんたくにても休みなく…
4	7	6(火)	…清水みんぶ様家中見物にまいり候
5	8	7(水)	今日皆々馬車五つに打のり、はくらんかいと申処い見物にまいり候なり、… * 1
6	9	8(木)	} (この間、日記の記述なし)
7	10	9(金)	
8	11	10(土)	
9	12	11(日)	
10	13	12(月)	
11	14	13(火)	
12	15	14(水)	
13	16	15(木)	
14	17	16(金)	
15	18	17(土)	今日は <u>はりし</u> にて、風船と申物を始て見る、… * 2
16	19	18(日)	
•17	20	19(月)	はくらんかい見物致
18	21	20(火)	
19	22	21(水)	
20	23	22(木)	
21	24	23(金)	今日もはくらんかいの処い見物にまいり候
22	25	24(土)	
23	26	25(日)	
•24	27	26(月)	
25	28	27(火)	此夜女郎かいにまいり、…
26	29	28(水)	今日座中のこらす馬車二面町見物致候なり
27	8-1	29(木)	同見物
28	2	30(金)	又はくらんかい見物
29	3	31(土)	
30	4	9-1(日)	女郎かい

- * 1. パリ万国博覧会についてのかなり長い記述あり。「はくらんかい」とひらがな表記だが、このことばのかなり早い使用で、博覧会に出かけている日本人の誰かから聞いたのか。
- * 2. 風船（軽気球）についての要領よい記述あり。その中に、風船が「たゝのる物にあらざ、い用のどふ工（道具）のよふにきゝおよぶことなり」とあるが、「い用」＝「ゑ用」＝「絵用」＝「写真用」と解せられるとすれば、当時ナダールが、軽気球に乗り、パリ市中の空中写真を撮っていたから、それを誰かから聞いたものか。

広八暦	日本暦	西暦	
卯 8-•1	慶応3 8-5	1867 9-2(月)	今日御城見物致候
2	6	3(火)	
3	7	4(水)	
4	8	5(木)	町見物致
5	9	6(金)	
6	10	7(土)	女郎
7	11	8(日)	女郎
•8	12	9(月)	
9	13	10(火)	
10	14	11(水)	今日けた物屋敷見物ニまいり候処、…
11	15	12(木)	
12	16	13(金)	
13	17	14(土)	
14	18	15(日)	
•15	19	16(月)	今日ひぜん（肥前）の国の人四人まいり、日本の拙を致、… * 1
16	20	17(火)	
17	21	18(水)	
18	22	19(木)	今日はりしにおいて、町家のこらすのうち皆、上下壺丈ほとしたを、… * 2
19	23	20(金)	
20	24	21(土)	
21	25	22(日)	
•22	26	23(月)	日本人四人あいにくる也
23	27	24(火)	
24	28	25(水)	
25	29	26(木)	
26	30	27(金)	
27	9-1	28(土)	
28	2	29(日)	…今日より異人き物ニうつる也、 * 3
•29	3	30(月)	
30	4	10-1(火)	

* 1. 宮永 (P.92～3) によると、佐賀藩のバリ万博派遣使、佐野（常民）、藤山又一、小出千之助、深川長右衛門ら四人のことらしい。「五月廿二日」も同じか。

* 2. 下水道見学の要領よい記述。

* 3. 日本の装束のまま町に出ると大勢人がよってきて、買い物などの際、動きがとれないとのことで、これまでべんくつに「日本き物をきるよふと申わたされ」ていたが、「こまり候」ゆえ、べんくつとかけあって、洋服を買い、外出に限り洋装にした。

広八曆	日本曆	西曆	
卯 9-1	慶応3 9-5	1867 10-2(水)	此夜大火ち二而、火けしのでたち（出で立ち）車のういの道具みて、皆おとろきいるなり
2	6	3(木)	
3	7	4(金)	
4	8	5(土)	女郎
5	9	6(日)	
•6	10	7(月)	とんたく二而、又けた物屋敷見物にまいるなり
7	11	8(火)	
8	12	9(水)	
9	13	10(木)	
10	14	11(金)	
11	15	12(土)	
12	16	13(日)	
•13	17	14(月)	とんたく二而、 <u>せんく良場</u> と申しこれハあすび所也、… * 1
14	18	15(火)	
15	19	16(水)	
16	20	17(木)	
17	21	18(金)	今はん女
18	22	19(土)	
19	23	20(日)	
•20	24	21(月)	女郎
21	25	22(火)	今夜つなわたりの松五郎つなよりおちる…
22	26	23(水)	
23	27	24(木)	
24	28	25(金)	
25	29	26(土)	又々はぐらんかいを見物ニまいり…
26	10-1	27(日)	
•27	2	28(月)	所々見物ニ出る
28	3	29(火)	
29	4	30(水)	
30	5	31(木)	…目出度せんしうらく仕候て、… ^(リヨン) 利をんと申処いゆく事ときハマり

* 1. 宮永 (P.94) によれば、ブーローニュの森らしい。

広八暦	日本暦	西暦	
卯 10-1	慶応3 10-6	1867 11-1(金)	今日馬車又上き車ニのりかい、八つ時出たちて貳百りの処を明五つ時に利をんニ付、…
2	7	2(土)	
3	8	3(日)	利をん町見物致
•4	9	4(月)	今日初日致候、…猶又比日異人の角力を見る、… * 1
5	10	5(火)	
6	11	6(水)	所々あすひに出
7	12	7(木)	
8	13	8(金)	はうく (park) にてあすぶ
9	14	9(土)	町見物致候
10	15	10(日)	同
•11	16	11(月)	とんたくにて又異人の角力見物ニまいり候、…
12	17	12(火)	
13	18	13(水)	はあくにてあそふ
14	19	14(木)	
15	20	15(金)	両かいや (銀行か) 見物致候
16	21	16(土)	今日はたおる処見物致候処、… * 2
17	22	17(日)	
•18	23	18(月)	
19	24	19(火)	
20	25	20(水)	
21	26	21(木)	此夜女郎かいにまいり候処、…
22	27	22(金)	
23	28	23(土)	
24	29	24(日)	町見物候
•25	30	25(月)	とんたくにてはうくいまいり、船ゆさんを致候処、… * 3
26	11-1	26(火)	今夜女郎かい致て、…
27	2	27(水)	
28	3	28(木)	此日はうくいまいりて、…
29	4	29(金)	女郎かい又いたりや、…
30	5	30(土)	同いたりや

- * 1. 「異人の角力」についての要領のよい記述が続く。レスリングのことらしい。「十一日」にも。
- * 2. 広八の家は代々機屋を家業としていたので、関心があったのだろう。記述は「皆しかけておる、二は、物にて皆是はきぬるいなり、ます日本より糸又ハかいごたねのいく処ハ、おふくハふらんすニても此利をんなどがきぬ処なり」と続くが、広八の面目躍如というべきか。
- * 3. 宮永 (P.98～9) によれば、テット・ドール公園のことらしい。この公園の池で舟遊山をして、リヨン市民と大いなる交歓をしたさまが、かなり長く記述されている。相当印象深かったのであろう。幕府の使節団の人たちが残した日記などの記録には見られないことである。

広八暦	日本暦	西暦	
卯 11-1	慶応3 11-6	1867 12-1(日)	同
•2	7	2(月)	
3	8	3(火)	今夜目出度せんしよらく仕候, 是よりいざりす国にまいる事とき わまるなり
4	9	4(水)	今日利をんお出たち, 四つ時よりあけ六つ時ニふらんす はりしに まいり, 此夜とまり候て, …
5	10	5(木)	
6	11	6(金)	…それぞれにかい物を致し, 此夜五つ時出たち, …
7	12	7(土)	…車ヲをりて又上き船にのりかい候処, …くれ六つ時船よりあか り又上き車, 又五つ時ニいざりす国へ付, … * 1
8	13	8(日)	
•9	14	9(月)	
10	15	10(火)	
11	16	11(水)	しばいのふたいあきなし, それゆいまい日やすむなり
12	17	12(木)	
13	18	13(金)	
14	19	14(土)	
15	20	15(日)	
•16	21	16(月)	そん札にて皆々町見物致, …
17	22	17(火)	
18	23	18(水)	はうく見物致
19	24	19(木)	女郎かい
20	25	20(金)	
21	26	21(土)	女郎かい
22	27	22(日)	女郎かい
•23	28	23(月)	町見物致
24	29	24(火)	ろんどんにてあきしばいなけれハ, 明日たちときわまり
25	30	25(水)	九つ時ニ上き車ニ, …くれ六つ時ニ ^(パーミンガム) ばみはいむと申処いつき候な り, …
26	12-1	26(木)	
27	2	27(金)	今日初日仕候 (於カーゾン・ホール)
28	3	28(土)	
29	4	29(日)	
•30	5	30(月)	そん札 相休申候

* 1. カレーよりドーバーへ, そしてロンドン着。契約していたハー・マジェスティーズ劇場がロンドン到着当日夜
火事で焼け落ち, 他に舞台の空きなく, しばらくの間興行できなくなる。

広八曆	日本曆	西曆	
卯 12-1	慶応3 12-6	1867 12-31(火)	
2	7	1968 1-1(水)	馬車にて町見物
3	8	2(木)	
4	9	3(金)	
5	10	4(土)	
6	11	5(日)	
•7	12	6(月)	そん札 相休
8	13	7(火)	
9	14	8(水)	
10	15	9(木)	
11	16	10(金)	
12	17	11(土)	
13	18	12(日)	
•14	19	13(月)	そん札 相休
15	20	14(火)	
16	21	15(水)	
17	22	16(木)	女かい
18	23	17(金)	
19	24	18(土)	女
20	25	19(日)	
•21	26	20(月)	そん札ニ而馬車ニ而所々見物致、此処ハ日本ニ而たといふならば、 上州高崎とも申候よふなるところ、…
22	27	21(火)	
23	28	22(水)	女
24	29	23(木)	
25	30	24(金)	
26	慶応4 1-1	25(土)	此日目出度せんしうらく仕候て、これより ^(リーズ) 利いすと申候いまいる
27	2	26(日)	…明六つ時出たち七つ時ニ付候なり
•28	3	27(月)	やとやニ而休
29	4	28(火)	今日利いす初日仕候 (於タウン・ホール)、大入ニ而役人てみせ致 候也、 * 1
30	5	29(水)	

* 1. 興行前のプレビューか。

広八曆	日本曆	西曆	
(慶応4) 1-1	慶応4 1-6	1968 1-30(木)	…猶又朔日の大ゆはいにて、… * 1
2	7	31(金)	
3	8	2-1(土)	此処ハちいさき処なり、…ふだい（舞台）もちいさいなり
4	9	2(日)	今日利いすせんしうらく目出度仕候て荷作致候
•5	10	3(月)	
6	11	4(火)	此日出立て ^(ブラッドフォード) ぶうつほうと申処いまいる、…その日興行初日致候、… * 2
7	12	5(水)	
8	13	6(木)	
9	14	7(金)	今日目出度せんしうらく
10	15	8(土)	此日ぶうつほう出たちて、同国之内 ^(マンチェスター) 万ちやしたいと申処いゆく、…
11	16	9(日)	今日…目出度初日仕候（於フリー・トレード・ホール）処、…
•12	17	10(月)	そん札ニ而相休町見物致候処、…
13	18	11(火)	
14	19	12(水)	今日此処目出度千しうらく致、 ^(ブラックバーン) ぶうつはと申処い…晝時ニ付、…その日興行初日仕候（於ブラックバーン・エクステンジ）
15	20	13(木)	
16	21	14(金)	…千しうらく致候、…
17	22	15(土)	今日万ちやしたいに立かいら、すぐに其日興行初日致候処、…
18	23	16(日)	
•19	24	17(月)	皆々相休町見物致、…なるほどろんとんにまけずおとらずの大場所なり、…
20	25	18(火)	
21	26	19(水)	
22	27	20(木)	今日此処目出度千しうらく致、…
23	28	21(金)	此朝万しやしたいを出たち、 ^(ウエイクフィールド) ういきほうと申処を、すぐに興行初日致（於コーン・エクステンジ）
24	29	22(土)	此日目出度皆々せんしうらく致候なり
25	2-1	23(日)	… ^(ハル) ほるとの町い、…すぐにその日興行初日致（於クィーンズ劇場）
•26	2	24(月)	そん札ニ而相休、い中なれ共見物に出所々を見る
27	3	25(火)	ひる所々見物
28	4	26(水)	
29	5	27(木)	
30	6	28(金)	…馬車ニ而見物ニ出候、…

* 1. この年は日本より6日遅れて正月の祝い。

* 2. 「その日興行初日致候」とあるのは、後に清書の際にか、そうでないにしろ、この日より後日に、この日の事を記したからであろう。「十四日」、「廿五日」にも「その日」とある。

広八曆	日本曆	西曆	
(慶応4) 2-1	慶応4 2-7	1868 2-29(土)	此処目出度千しうらく仕、是よりおらんだ国いまいる也
2	8	3-1(日)	今日上き船にて、おらんだ国い朝五つ時出船いたし…
•3	9	2(月)	今日四つ時おらんだ国 <u>はうん</u> (ロッテルダム港) と申処い付候、… * 1
4	10	3(火)	此処今日興行初日 (於デューレン・大ホール)、…
5	11	4(水)	
6	12	5(木)	
7	13	6(金)	
8	14	7(土)	…皆々目出度千しうらく
9	15	8(日)	此朝五つ時上き車ニ而国のみやこ (アムステルダム) いまいる、此国の人ハマ事なし、人き大きにわるし、此夜すぐさま興行初日致 (パレー・フォー・フォルクスフリート)、猶又日本人二人きたりていろいろ咄をする * 2
•10	16	9(月)	此日馬車ニ而町見物致候処、… * 3
11	17	10(火)	
12	18	11(水)	
13	19	12(木)	
14	20	13(金)	
15	21	14(土)	
16	22	15(日)	
•17	23	16(月)	そん礼なれ共大入りなり、今日此処目出度せんしうらく仕候
18	24	17(火)	今日此処をたちてい中の町 (ユトレヒト) いゆき、すぐに興行初日致 (ユトレヒト劇場)
19	25	18(水)	今日日本人四人むかひにきたり、…* 4
20	26	19(木)	…是より又 <u>はうん</u> (ロッテルダム) い立かいり、二人めの興行初日…
21	27	20(金)	
22	28	21(土)	
23	29	22(日)	此処目出度千しうらく致
•24	30	23(月)	
25	3-1	24(火)	い中の町 (ライデン) いまいり候て、其夜すぐさま興行初日 (於ライデン音楽劇場)
26	2	25(水)	
27	3	26(木)	又此処目出度千しうらく仕、それより又同い中 (ハーグ) ニ而、すぐさま興行 (於王立オランダ劇場)
28	4	27(金)	
29	5	28(土)	
30	6	29(日)	

* 1. 「はうん」は地名ではなく、おそらく、オランダ語 haven (港) の発音を聞いて、地名と勘違いしたのであろう。ついで、「是も大みなとにして」とあるから、ロッテルダム港であることは確かであろう。テキストに (68.3.1) とあるのは、(68.3.2) である。

* 2. 宮永 (P.134) によると、この二人は赤松大三郎と佐野常民かもしれないとされる。ただし「赤松大三郎和蘭滞在、懐中日記」(日蘭学会編『續幕末和蘭留学関係史料集成』、雄松堂、昭和59年、P.156) によると、「七日(土)朝佐野来ル」「八日(日)朝第一のトレインにて佐野同道ハーケ (ハーグ) 江趣く」「九日(月)朝ハーケ出立、アムステルダム江帰ル」とあるから、「広八曆」の日曜日の一日のずれを勘案すると、二人がきたのは「七日」(西曆)の可能性が高い。「十日(火)」は、二人同道して、ライデンに出かけている。

* 3. この日の記述を「九日」、「十九日」の日の記述と合わせて読むと広八のオランダに対する印象がいかに悪かったかが如実にうかがえる。末尾を「おらんだと申処ハごくそでの国ニ御座候」と結んでいる。

* 4. 宮永 (p.134) によると、佐野とその随員三名とおもえたとある。

広八曆	日本曆	西曆	
(慶応4) 3-•1	慶応4 3-7	1968 3-30(月)	是より又 <u>ふらんす</u> 国い上き船にてまいり、すくさま興行 (於テアトル・ド・パリエテ) * 1
2	8	31(火)	
3	9	4-1(水)	
4	10	2(木)	
5	11	3(金)	* 2
6	12	4(土)	
7	13	5(日)	今日松井菊治郎事、長々わつらいにて、… <u>ろんどん</u> いまいりやすみいるよふときわまり、…
•8	14	6(月)	
9	15	7(火)	
10	16	8(水)	今日此処目出度千しうらく仕候、是よりいさり <u>すろんどん</u> いまいる事ときわまり、…
11	17	9(木)	比朝 <u>ふらんす</u> お出立候て、…七時半時ニろんとんにに付候処、此朝菊治郎びようし致候と聞きて…
12	18	10(金)	…此日九ツ時ニとむらいお出し候…* 3
13	19	11(土)	
14	20	12(日)	当所役人てみせ致 (プレヴュー)、…此節わたくしぎ、びようきにてやすみいるなり
•15	21	13(月)	そん札ニ而
16	22	14(火)	今日此処初日仕候 (於ライシアム劇場)
17	23	15(水)	
18	24	16(木)	
19	25	17(金)	今日馬車ニ而町見物致候処、りっはなる事異国壱ばんと見うけ候、…
20	26	18(土)	
21	27	19(日)	…ひる興行にまいり候あとにて、わたくし又傳吉、兼吉、しけ松これ四人のへやより出火致候て、…* 4
•22	28	20(月)	此朝やけ場所いまいり取かいしみる処、…* 5
23	29	21(火)	
24	30	22(水)	
25	4-1	23(木)	
26	2	24(金)	まい日ひの内ハ町見物、馬車ニ相のりであるく也
27	3	25(土)	
28	4	26(日)	
•29	5	27(月)	女郎かい
30	6	28(火)	

* 1. テキストに「実際はベルギー王国アントワープ」とあり、おそらくそうであろう。

* 2. テキストに「日記には記載されていないが、ブリュッセルで興行。於テアトル・ナショナル・デュ・シルク」とある。

* 3. 宮永 (P.142 以下) によると、ロンドン南西 28 マイルの所の「ウォキング共同墓地」で葬儀をしたとのこと。

* 4. 暖炉の火のついた石岩がじゅうたんにこぼれて、火事となる。

* 5. 「御面状」 (= 旅券) はまわりがこげただけ。金銀は焼け溶けたが、それを「きん座」 (= 銀行) にもっていき、正式の通貨と交換。日付とその記述内容が一致するとすれば、この日は日曜日ではなからう。

広八暦	日本暦	西暦	
(慶応4) 4-1	慶応4 4-7	1968 4-29(水)	
2	8	30(木)	
3	9	5-1(金)	
4	10	2(土)	今日より ^(クリスタル・パレス) けしてはりしと申処をひる興行致也, …
5	11	3(日)	
•6	12	4(月)	
7	13	5(火)	又今日けしてはりしを興行ニまいり, …
8	14	6(水)	此夜女郎かいニまいり候処, … * 1
9	15	7(木)	
10	16	8(金)	
11	17	9(土)	
12	18	10(日)	
•13	19	11(月)	
14	20	12(火)	
15	21	13(水)	
16	22	14(木)	
17	23	15(金)	
18	24	16(土)	
19	25	17(日)	
•20	26	18(月)	此日とん度ニ而町見物致, … * 2
21	27	19(火)	
22	28	20(水)	
23	29	21(木)	
24	関 4-1	22(金)	
25	2	23(土)	
26	3	24(日)	
•27	4	25(月)	どん度ニ而
28	5	26(火)	
29	6	27(水)	
30	7	28(木)	今夜イギリス国王様見物ニまいり候, … * 3

- * 1. 詳しくは拙稿『『広八日記』のなかの広八像』（神奈川大学人文研究所編 2009年3月刊）を参照されたい。いわゆる女郎による盗難事件である。宮永（P.162～3）によると、『ザ・モーニング・アドヴァタイザー』紙（5月18付）の「警察裁判所」のコラムにこの事件が報道されている。それによると、4日(月)、すなわち「広八暦」で「六日」の日の出来事となる。また、テキストでは、広八暦「十九日」（5.16）を警察裁判所で盗難事件の判決が出された日としている。「広八日記」の記述にしたがうなら、「廿日」（5.18(月)）となるが、宮永の指摘と食違う。「警察裁判所」のコラムを見る限り、木曜日に女を特定したとあるから判決の日は「十七日」（15(金)）ということになるだろうか。
- * 2. 「ちやうにんくろうす（チャーリング・クロス）」のホテルから「らいせいゑんせいあいたい（ライシウム・シアター）へ宿変えした記述が続く。
- * 3. 宮永によると（P.166）、国王ではなく、皇太子殿下夫妻とのこと。

広八曆	日本曆	西曆	
(慶応4) 5-1	閏 4-8	1868 5-29(金)	
2	9	30(土)	
3	10	31(日)	
•4	11	6-1(月)	どん度ニ而
5	12	2(火)	
6	13	3(水)	ひるけしてはり興行
7	14	4(木)	
8	15	5(金)	又同けしてはりしにひる興行にまいり, …
9	16	6(土)	
10	17	7(日)	
•11	18	8(月)	所々見物致
12	19	9(火)	同けしてはりし興行
13	20	10(水)	
14	21	11(木)	
15	22	12(金)	
16	23	13(土)	
17	24	14(日)	
•18	25	15(月)	どん度ニ而所々見物休
19	26	16(火)	
20	27	17(水)	
21	28	18(木)	
22	29	19(金)	
23	5-1	20(土)	此夜つなわたりの松五郎, 異人をあいてニけんくわを致, …
24	2	21(日)	
•25	3	22(月)	所々見物致
26	4	23(火)	同けしてはりし興行
27	5	24(水)	同
28	6	25(木)	…此日ろんとん町中馬車ニ而見物致候処
29	7	26(金)	同けしてはりし, …
30	8	27(土)	同けしてはりし, …

広八曆	日本曆	西曆	
(慶応4) 6-1	慶応4 5-9	1868 6-28(日)	今日菊二郎石とう立ほうち (法事) を致、なお又皆々にてはかしよ (墓所) いまいり、…なを又今日此処目出度千しうらく仕、…
•2	10	29(月)	…なお又寺まいり仕候て、…
3	11	30(火)	…是よりすつはん (スペイン) と申国い八つ時出立て、…夜五つ時上き船にてろんどんを出帆致候なり
4	12	7-1(水)	今日ふらんす国 はりしいハ半ニ付候て、…此夜ハとまり候なり
5	13	2(木)	此朝四つ時ニ立て、上き車ニ而いすつはんをさして行
6	14	3(金)	
7	15	4(土)	此朝四つ時ニすつはんの国 まとろい (マドリッド) と申て国のみやこへ付、…
8	16	5(日)	…又町のうち見物ニ出候処、此国の人ハ日本人ニにたり、…
•9	17	6(月)	今日やすみてめつらしき此国のしきたりなる事を見る、…是はうしころし (闘牛) と申て、… * 1
10	18	7(火)	今日町見物致候て、此日やとやあしきゆ (え) 取かいるなり、(オテル・デ・ルシアからラ・チレナに)
11	19	8(水)	今日此処興行始日致候、…此処ハきよく馬共とわれ共げい打ちこみニ而、… * 2
12	20	9(木)	
13	21	10(金)	
14	22	11(土)	
15	23	12(日)	
•16	24	13(月)	皆々とんたく
17	25	14(火)	日々あすひに出る、又めつらしき物をかい入る
18	26	15(水)	
19	27	16(木)	
20	28	17(金)	
21	29	18(土)	
22	30	19(日)	
•23	6-1	20(月)	
24	2	21(火)	
25	3	22(水)	
26	4	23(木)	
27	5	24(金)	
28	6	25(土)	
29	7	26(日)	今日処のさい札ニ而、…
•30	8	27(月)	そん札ニ而、…

- * 1. かなり長文の闘牛についての記述が続く。文末に「此うしころしとて人けんのいのちまてすてを致処ハ、せかいにて此いすつはんにかきり候事也」とある。
- * 2. これ以降「打ちこみ」(共同興行)が時々行われる。

広八曆	日本曆	西曆	
(慶応4) 7-1	慶応4 6-9	1868 7-28(火)	
2	10	29(水)	
3	11	30(木)	
4	12	31(金)	
5	13	8-1(土)	
6	14	2(日)	
•7	15	3(月)	
8	16	4(火)	
9	17	5(水)	
10	18	6(木)	
11	19	7(金)	
12	20	8(土)	…七つごろからすゞみにいてる、馬車ニ而皆すゞみ場所い出てあすふなり、…
13	21	9(日)	
•14	22	10(月)	そんなれい
15	23	11(火)	
16	24	12(水)	
17	25	13(木)	
18	26	14(金)	
19	27	15(土)	
20	28	16(日)	
•21	29	17(月)	今日うしころしのば所ニ而、きよく馬といつ所ニ而げいを致し、…
22	7-1	18(火)	
23	2	19(水)	
24	3	20(木)	
25	4	21(金)	
26	5	22(土)	
27	6	23(日)	
•28	7	24(月)	此日そんなれいにてうしころしの場所ニ而、又きよく馬われ共、又からしゝのけい(芸)、又風船のけい四つうちこみにてする、…
29	8	25(火)	
30	9	26(水)	

広八暦	日本暦	西暦	
(慶応4) 8-1	慶応4 7-10	1868 8-27(木)	
2	11	28(金)	
3	12	29(土)	
4	13	30(日)	
•5	14	31(月)	そん札ニ而又きよく馬, 風, からし, われ共四つけいうちこみニ而致候処, …
6	15	9-1(火)	…此処目出度千しうらく相すまして, …
7	16	2(水)	是より同国の内 <small>(バルセロナ)</small> ばさろなと申処い朝六つ時ニ立, 上き車ニ而まいる, …
8	17	3(木)	今日七つ時ニばさろなニ付
9	18	4(金)	今日ばさろな興行初日致し候, …
10	19	5(土)	町見物致し候, …
11	20	6(日)	
•12	21	7(月)	そん札ニ而, …今日よりわたくし目わづらいと相成なんき致, いしやニかかりてとこにつき候事なり * 1
13	22	8(火)	此処のふたいきれいにして, …
14	23	9(水)	又此処もうしころしニ而, ひる興行打ちこみなり
15	24	10(木)	
16	25	11(金)	
17	26	12(土)	
18	27	13(日)	
•19	28	14(月)	
20	29	15(火)	
21	8-1	16(水)	
22	2	17(木)	
23	3	18(金)	今日目出度千しうらくいたし候, わたくしきハ此時二人のあいしやぢにて, 目つぶれるばかりなり * 2
24	4	19(土)	今日あけ七つ時此処を立て, <small>(バレンシア)</small> ばれんすやと申処い上き車ニ而まいる, … 此日くれ六つ時にばれんすやにつき, …
25	5	20(日)	今日初日…
•26	6	21(月)	そん札皆々うしころしをみる, わたくし目わづらいにて, 二人いしや目あやうきなり
27	7	22(火)	
28	8	23(水)	
29	9	24(木)	
30	10	25(金)	

* 1. スペインの日射しの強さにやられたか、眼病にかかったようだが、広八は年のわりに至って身体は丈夫だったようで、病気と言えば、これ以前に、「世月十四日」に、ロンドンで菊治郎の葬儀を出した二日後、「此節わたくし、びょうきにてやすみいるなり」とあるのみである。

* 2. 「…此時二人のあいしやぢにて, …」の意味不明。「廿六日」の「二人いしや目あやうきなり」も同様。

広八曆	日本曆	西曆	
(慶応4) 9-1	慶応4 8-11	1868 9-26(土)	
2	12	27(日)	
•3	13	28(月)	此国ニ而大いくさはしまり、…わたくしきわがんひうゆい心をさため、吾人より処なくうち二いるなり * 1
4	14	29(火)	今日もいくさニ而大さハき (騒ぎ)、処の役人より興行とめられやすむ、…
5	15	30(水)	
6	16	10-1(木)	
7	17	2(金)	此日いくさゆるやかに相成て、町家ニ而よろこびゆわい致なり、…
8	18	3(土)	今日より又興行始、入なし
9	19	4(日)	入なし
•10	20	5(月)	そんな札ニ而、…
11	21	6(火)	入なし…今日いくさおさまり、ぐんかん屋敷ニ而ゆハいをいたし、…
12	22	7(水)	今日此処目出度千しうらく致し…
13	23	8(木)	
14	24	9(金)	
15	25	10(土)	今日ハ二ヶ年のくきりにて、べんくつの処いむつかしきかけあいにまいり候なり、 * 2
16	26	11(日)	
•17	27	12(月)	又此処ニ而うしころしニ而、風船と打こみニ而興行致、…
18	28	13(火)	同うしころしニ而…
19	29	14(水)	此日九つ時ニ此処を出立て、 ^(セビリヤ) すべりやと申処い上き車ニ而とふか事くにはしる
20	30	15(木)	
21	9-1	16(金)	…此夜七つ時ニすべりやと申処いつきてやすむ
22	2	17(土)	今日すべりや初日…
23	3	18(日)	
•24	4	19(月)	
25	5	20(火)	今日へんくつのへやい、がんひうなれ共わたくし又定吉、浪五郎三人ニ而まいり候処、たんたんのかけあいにてことハむつかしわけニ而御座候、 * 3
26	6	21(水)	
(明治元年) 27	明治元年 7	22(木)	…目出度千しうらく仕候て…
28	8	23(金)	猶又此日うしころしの
29	9	24(土)	興行致候処入なし * 4
30	10	25(日)	今日きうきん (給金) の事ニ而、むつかしかてき…

- * 1. いわゆるスペイン革命で、1868.9.18 軍港カディスで起った内戦がこの日バレンシアにも波及してきたのだろう。日記「九月七日」に、誰から聞いたか、要領のよい記述がある。
- * 2. この日以後、「廿五日」「廿日」と計三回、べんくつと交渉しているが、結果は、いづれの日に合意したか確定できないが、二ヶ年の契約の初日を、慶応二年十月廿六日 (1866.12.2) の「横浜入船 (乗船)」の日に変更したと思われる。
- * 3. 「ことハむつかし」をテキストは (言葉むつかし) としているが、ここは「事 (契約に関する交渉) はむつかし」と解するべきであろう。
- * 4. テキストでは、(この日、…明治に改元) とあるが、実際は日記 (廿七日) = (1968.10.22) の日が明治改元の日である。一日のずれがあるから。

広八曆	日本曆	西曆	
(明治元年)	明治元年	1868	
10-•1	9-11	10-26(月)	そん札うしころしニ而興行, …
2	12	27(火)	今日此処千しうらく致, 是よりよくに (他の国) いまいる也
3	13	28(水)	
4	14	29(木)	
5	15	30(金)	
6	16	31(土)	此朝六つ時に出立致て ^(ポルトガル) ほるてかいると申国いゆく, 上き船にて出船致, …
7	17	11-1(日)	
•8	18	2(月)	
9	19	3(火)	今日ほるてかいるの ^(リスボン) れすぼんと申処い朝五つ時つき
10	20	4(水)	今日れすぼん初日…
11	21	5(木)	
12	22	6(金)	
13	23	7(土)	
14	24	8(日)	
•15	25	9(月)	
16	26	10(火)	まい日町見物致, もはや日本いかひり道の事ゆい, いろいろめづらしき物をみふみやげにかい入候なり, …
17	27	11(水)	
18	28	12(木)	
19	29	13(金)	
20	10-1	14(土)	
21	2	15(日)	
•22	3	16(月)	
23	4	17(火)	
24	5	18(水)	
25	6	19(木)	…此夜大入ニ而, 目出度千しうらくいたし候なり
26	7	20(金)	今日れすぶんを立て, ^(ポルト) ほうると申処いまいる, 上き車ニ而明け六つ時ニほうるい付候なり
27	8	21(土)	…興行初日…
28	9	22(日)	
•29	10	23(月)	
30	11	24(火)	

広八暦	日本暦	西暦	
(明治元年)	明治元年	1868	
11-1	10-12	11-25(水)	曲馬, 又うた, われ共三つ打ちこみ二いたす
2	13	26(木)	
3	14	27(金)	町見物…
4	15	28(土)	
5	16	29(日)	
•6	17	30(月)	…目出度此処千しうらく相すみ, 此日ハ丸武ヶ年七百三十日勤, 是よりわれわれすきのままに成候, * 1
7	18	12-1(火)	
8	19	2(水)	
9	20	3(木)	朝五つ時ニ出立, 上き船ニ而, ふらんすは、と申処いまいる…
10	21	4(金)	
11	22	5(土)	
12	23	6(日)	
•13	24	7(月)	此夜ふらんす国ふな付, 此処よりわたくし又定吉又浪五郎三人あがり, はりしい日本清水みんぶ様の願事有, … * 2
14	25	8(火)	朝五つ時はりしい付, …
15	26	9(水)	われわれ共ははりしいまいり, 願事あるニ付みんぶ様たずね候処, もはや日本へ御きこくのよしきゝて, … * 3
16	27	10(木)	朝五つ時上き事ニ而立, 六つ時は、いつき, 又ふねの物共もつきて, 壱しよになり, … * 4
17	28	11(金)	
18	29	12(土)	
•19	30	13(日)	今日は、初日 * 5
20	11-1	14(月)	
21	2	15(火)	
22	3	16(水)	
23	4	17(木)	
24	5	18(金)	
25	6	19(土)	
•26	7	20(日)	
27	8	21(月)	今日目出度千しうらくいたし, …
28	9	22(火)	今日七つ時出立候てハあと (宮永 P.191 によるとカーン Caen) へ行く
29	10	23(水)	ハあと初日…
30	11	24(木)	

- * 1. 前々月の* 2で触れたように、「武ヶ年七百三十日」とは、1866.12.2より1868.12.1までだが、1868年は閏年で、1866.11.30までとなり、一日のずれを勘案すると、10.29までとなる。前述のように日曜日が、広八暦では一日遅れになっているので、この日の記述は本来、広八暦で、「十一月五日」に属するものと考えられる。これは筆者の憶測であるが、そうでないと、「武ヶ年七百三十一日」になってしまう。
- * 2. 「御印章」の「期限・二年」をすぎているので、この件について、実情をうちあけて、相談にのってもらおうと思ひ、たずねた。
- * 3. 清水民部 (徳川昭武) はすでに、10月15(木) (広八暦「九月廿日」) にパリをたっている。この記述のあとに、日本での政変を、宿舎の留守番にあたっていた家来から聞いておどろいたとある。
- * 4. この日の記述から、「十一月十三日」の「ふらんす国ふな付」は、ルアーブル港ではない別の港だと思われる。不詳。
- * 5. この日から、日曜日を示す・印が正常に戻る。なお「十一月十五日」の記述の末尾にある「此間にて壱日行かいりて日出入あり」との(朱書)は意味不明だが、このことと関係あるか。テキストは、この点について何も触れずに、(12・13)としてあるが、それ以前との不整合について触れていないのが気になる。これ以降、広八暦 (明治二年)「二月十一日」(3・5)までは、拙対照年表と一致しているが、日付変更線後は、なぜか二日ずらしてあって、横浜帰港は(69・3・31)としてあるが、不可解。

広八曆	日本曆	西曆	
(明治元年)	明治元年	1868	
12-1	11-12	12-25(金)	
2	13	26(土)	
•3	14	27(日)	
4	15	28(月)	今日目出度千しうらく仕, それより <u>は</u> ゝいとる
5	16	29(火)	
6	17	30(水)	はゝい付, …
7	18	31(木)	<u>あめりか</u> いとるしたく
8	19	1869 1-1(金)	朝四つ時は <u>ゞ</u> を立て九つ時出船に成, 是より <u>あめりか</u> <u>入要達</u> をさしていそく, …
9	20	2(土)	
•10	21	3(日)	
11	22	4(月)	
12	23	5(火)	
13	24	6(水)	
14	25	7(木)	あたまあからず, 猶又此船ハたへ物わるくして, なんきのういなんき致候
15	26	8(金)	
16	27	9(土)	
•17	28	10(日)	
18	29	11(月)	
19	30	12(火)	
20	12-1	13(水)	
21	2	14(木)	
22	3	15(金)	今日 <u>入要達</u> いつきて皆々ほつといきをつくなり
23	4	16(土)	
•24	5	17(日)	
25	6	18(月)	
26	7	19(火)	
27	8	20(水)	此 <u>入要達</u> 二而ふたいのあきなし, …猶又異人よりきうきんさしつかいこまる, * 1
28	9	21(木)	
29	10	22(金)	きうきんの事にて休む
30	11	23(土)	今日異人 <u>べんくつ</u> われわれの中い中人はいりて, よふよふ興行致事ときわまり候

* 1. 契約切れのあとの興行についての給金の支払いが滞っているとのことか。

広八曆	日本曆	西曆	
(明治2年)	明治元年	1869	
1-•1	12-12	1-24(日)	* 1
2	13	25(月)	今日興行初日致候也 (於タマニー・ホール)
3	14	26(火)	
4	15	27(水)	今日異人 <u>べんくつ</u> 利かいにつまり、 <u>入</u> 要達かけおちいたしてゆくいしれす、大たんふと、きなる <u>べんくつ</u> なり
5	16	28(木)	
6	17	29(金)	
7	18	30(土)	
•8	19	31(日)	そん札ニ而
9	20	2-1(月)	
10	21	2(火)	
11	22	3(水)	
12	23	4(木)	此日町見物いたし、猶又日本いかえりあしに相成候ゆい、なにかをかいかいに出る事也
13	24	5(金)	
14	25	6(土)	今日目出度千しうらく致、是より日本いかへる事ときハまり、皆々よろこぶ
•15	26	7(日)	われわれ共十七人の内九人のこる、又八人ハ日本いもとるよふと事きわまる
16	27	8(月)	…今日異国みおさめなりとてほうほう見る、…
17	28	9(火)	のこる九人を異人い壺ヶ年四千五百両ニきわめ、かいる八人ハ <u>入</u> 要達より日本までの船ちん千四百両たし、今日九つ時出船仕候、…* 2
18	29	10(水)	
19	明治2年 1-1	11(木)	
20	2	12(金)	
21	3	13(土)	此船ハ飯物わるして、皆々大きにはらをほす
•22	4	14(日)	
23	5	15(月)	
24	6	16(火)	
25	7	17(水)	…今日九つ時にあめりかの右とうりし道、…はんのまと申廻いつき、…此廻又おなじく上き車ニて行也、是より又上き船にのりかへる
26	8	18(木)	…此日七つ時ニ出船いたし候、…
27	9	19(金)	
28	10	20(土)	
•29	11	21(日)	
30	12	22(月)	

* 1. 正月祝の記述なし。

* 2. この記述のあとに、自分は日本の曆を持参しなかつたので便宜上一ヶ月を三十日として日記をつけた、とある。そして、又日本曆と西曆の相違についても記している。

広八曆	日本曆	西曆	
(明治2年)	明治2年	1869	
2-1	1-13	2-23(火)	…異人の小共壱人、…海いおちしぬる也、…女おやなれハきちがいのよふ二なりてなきさけべ共ぜひなし、皆々共になけぐなり
2	14	24(水)	
3	15	25(木)	
4	16	26(金)	
5	17	27(土)	
•6	18	28(日)	
7	19	3-1(月)	
8	20	2(火)	
9	21	3(水)	
10	22	4(木)	此朝四つ時ニ、又右之処 <u>三ふらんせしこ</u> いつきて、…又日本人此 <u>三ふらんせすこ</u> ニ四人おる、此者共も皆々あいにくる、… * 1
11	23	5(金)	此朝四つ時出船いたし候、…われ今までのりたる船にハ、此船壱ばんニ御座候なり
12	24	6(土)	
•13	25	7(日)	
14	26	8(月)	
15	27	9(火)	
16	28	10(水)	浪風よくとふが事し
17	29	11(木)	
18	30	12(金)	
19	2-1	13(土)	
•20	2	14(日)	
21	3	15(月)	
22	4	16(火)	
23	5	17(水)	今日明七つ時ニ、ひきやく船(郵船)日本より <u>三ふらんせしこ</u> へまいる船、三十丁ほどへたちて入ちかえとふる、…
24	6	18(木)	
25	7	19(金)	
26	8	20(土)	
27	10	22(月)	…今日どんたくなれ共、此処ニ而壱日の日かすのびつまりあるは所(場所)なり、…われわれ共にハすこしも相わからず候、* 2
28	11	23(火)	
29	12	24(水)	
30	13	25(木)	

- * 1. 四人の日本人とは、翌日の記述と考えあわせると有馬様一行のことか。テキストには、出発前、江戸南町奉行有馬阿波守より、旅券を渡されたとある。
- * 2. 日付け変更線通過。同船していた有馬様の家来から教えてもらったか。これ以降、日曜日を示す・印なし。なお、広八曆「二月廿三日」の記述の最後に朱書きで「此間ハ壱日行づまる、又かいらニのびると申さかい也」とある。

広八曆	日本曆	西曆	
(明治2年)	明治2年	1869	
3-1	2-14	3-26(金)	なみよしはしる
2	15	27(土)	
3	16	28(日)	
4	17	29(月)	
5	18	30(火)	…今日八つ時ニ日本よこ浜いつき候なり, …此時日本ニ而ハ二月十九日也, … * 1

* 1. 実際は「二月十八日」である。そうでないと、前述のように全行程 851 日になってしまう。のちの清書の段階での記憶違いか。
又、テキストに (69・3・31) とあるのも既述の如く、誤り。